

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイチアンドエフ

コード番号 6163 URL <http://www.h-f.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宗田 世一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務・企画部長

(氏名) 伊藤 敏之

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

TEL 0776-73-1260

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,785	1.9	715	42.6	699	41.9	454	25.0
26年3月期第1四半期	5,679	△16.1	502	△63.3	493	△62.9	363	△66.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 455百万円 (△1.2%) 26年3月期第1四半期 461百万円 (△63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	46.17	—
26年3月期第1四半期	36.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第1四半期	23,097	10,314	44.7	1,047.18
26年3月期	24,421	10,415	42.6	1,057.41

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,314百万円 26年3月期 10,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	12,000	△1.2	1,320	△2.1	1,300	△1.7	850	△4.3	86.30
通期	23,000	△9.7	2,430	△14.7	2,400	△14.3	1,570	△14.1	159.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	9,850,000 株	26年3月期	9,850,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	230 株	26年3月期	230 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	9,849,770 株	26年3月期1Q	9,849,840 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きがみられるものの、各種政策の効果が発現する中で、緩やかに回復していくことが期待されております。しかし、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの主要顧客である自動車業界におきましては、超円高は是正されたものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減が続く中、中国やその他新興国経済の先行き等に不確実性がみられ、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の受注高につきましては、プレス機械は前年同四半期に複数の中国向け大型案件の受注があったこと等により、1,883百万円（前年同四半期比73.0%減）と前年同四半期を大きく下回りました。FAシステム製品につきましても1,615百万円（前年同四半期比11.5%減）と前年同四半期を下回りました。アフターサービス工事は1,982百万円（前年同四半期比26.9%増）と前年同四半期を上回りました。全体では、5,481百万円（前年同四半期比47.0%減）と前年同四半期を大きく下回りましたが、当年度の受注目標220億円に対する進捗率は24.9%と順調に推移しております。受注残高は前連結会計年度末に比べ304百万円減少し21,903百万円となりました。

売上高につきましては、プレス機械は3,411百万円（前年同四半期比8.1%増）と前年同四半期を上回りましたが、FAシステム製品につきましては1,154百万円（前年同四半期比22.3%減）と前年同四半期を下回りました。アフターサービス工事は1,220百万円（前年同四半期比17.4%増）と前年同四半期を上回りました。全体では、5,785百万円（前年同四半期比1.9%増）と前年同四半期並みとなりました。

損益面につきましては、コストダウン効果及びアフターサービス工事の売上増等により、営業利益715百万円（前年同四半期比42.6%増）、経常利益699百万円（前年同四半期比41.9%増）とそれぞれ前年同四半期を大きく上回り、四半期純利益につきましても454百万円（前年同四半期比25.0%増）と前年同四半期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,479百万円減少し、18,577百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、4,519百万円となりました。これは、主に投資その他の資産が増加したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,222百万円減少し、12,782百万円となりました。これは、主に未払金、未払法人税等及び前受金が減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、10,314百万円となりました。これは、主に利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通り進捗しているため、平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が162,660千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,446,134	7,893,685
受取手形及び売掛金	8,999,295	7,189,053
商品及び製品	47,498	52,213
仕掛品	567,029	676,242
原材料及び貯蔵品	205,887	177,878
繰延税金資産	335,091	337,725
その他	1,457,298	2,251,958
貸倒引当金	△980	△830
流動資産合計	20,057,255	18,577,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,021,861	1,008,494
機械装置及び運搬具（純額）	991,017	919,044
土地	833,057	833,057
その他（純額）	199,490	183,626
有形固定資産合計	3,045,427	2,944,222
無形固定資産		
のれん	3,109	—
その他	150,535	142,723
無形固定資産合計	153,645	142,723
投資その他の資産		
投資有価証券	706,839	771,232
その他	458,396	661,418
貸倒引当金	△280	△280
投資その他の資産合計	1,164,956	1,432,371
固定資産合計	4,364,029	4,519,317
資産合計	24,421,285	23,097,244

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,464,480	1,274,386
短期借入金	100,000	100,000
未払金	5,726,682	5,502,463
未払費用	1,157,847	1,198,333
未払法人税等	861,997	256,266
前受金	2,151,193	1,934,302
賞与引当金	417,000	177,000
製品保証引当金	368,096	436,165
受注損失引当金	261,494	172,417
その他	42,928	88,259
流動負債合計	12,551,721	11,139,593
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,248	47,600
退職給付に係る負債	1,325,076	1,510,501
その他	83,481	85,101
固定負債合計	1,453,805	1,643,203
負債合計	14,005,527	12,782,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	747,400	747,400
利益剰余金	8,628,099	8,526,179
自己株式	△163	△163
株主資本合計	10,430,336	10,328,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,492	115,249
繰延ヘッジ損益	△4,941	△3,592
為替換算調整勘定	68,091	60,090
退職給付に係る調整累計額	△191,721	△185,716
その他の包括利益累計額合計	△15,078	△13,968
新株予約権	500	—
純資産合計	10,415,757	10,314,447
負債純資産合計	24,421,285	23,097,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,679,138	5,785,425
売上原価	4,684,530	4,574,523
売上総利益	994,607	1,210,902
販売費及び一般管理費	492,557	495,172
営業利益	502,050	715,729
営業外収益		
受取利息	1,480	1,330
受取配当金	3,335	5,045
その他	7,253	1,038
営業外収益合計	12,068	7,414
営業外費用		
支払利息	143	137
為替差損	14,907	5,911
外国租税公課	133	12,642
その他	5,835	4,835
営業外費用合計	21,020	23,526
経常利益	493,098	699,618
税金等調整前四半期純利益	493,098	699,618
法人税等	129,336	244,887
少数株主損益調整前四半期純利益	363,762	454,730
四半期純利益	363,762	454,730

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	363,762	454,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,585	1,757
繰延ヘッジ損益	44,694	1,348
為替換算調整勘定	37,459	△8,001
退職給付に係る調整額	—	6,005
その他の包括利益合計	97,739	1,110
四半期包括利益	461,501	455,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,501	455,840
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。